

お知らせ

<同時資料提供先>



合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

地方自治体が抱える施設管理の課題に対し、民間企業等が保有するシーズ技術を紹介します【傍聴参加者の募集】

～ インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」第10回・第11回ピッチイベントの開催 ～

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」において、地方自治体等の施設管理者が抱える施設管理の課題（ニーズ）について、民間企業等が保有する技術やノウハウを持ち寄り、シーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図るピッチイベントを以下のとおり開催します。つきましては、傍聴参加者を募集します。

■開催日時

第10回ピッチイベント：令和6年1月25日（木）13:30～16:40

第11回ピッチイベント：令和6年1月31日（水）13:30～16:30

※開催方法は、両日ともにオンライン形式となります。傍聴参加申込みをされた方には別途、オンライン参加のためのURL等をお知らせします。

■開催内容、傍聴参加の申込要領

別添【傍聴参加者の募集】による

申込み期限：令和6年1月19日（金）

- 本ピッチイベントの開催案内、傍聴参加者の募集は、インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」のホームページにも掲載されています。傍聴参加申込書のオリジナルデータはこちらからダウンロードできます。ホームページURL：<https://www.cgr.mlit.go.jp/kikaku/im/index.html>
- 中国地方整備局は、産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとなるインフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の取り組みを支援しています。
- 当日、取材を希望される場合は、オンライン配信会場（広島市東区光町2-10-11：復建調査設計（株）会議室）での取材を受け付けます。希望される場合は、前日までに、以下の問い合わせ先へ連絡願います。

問い合わせ先

【ピッチイベントの内容に関すること】

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会（事務局）

（復建調査設計株式会社 保全構造部内）TEL：050-9002-1744

藤井 友行（E-mail：jcim-chugoku@fukken.co.jp）

「ちゅうごく」ホームページ URL：<https://www.cgr.mlit.go.jp/kikaku/im/index.html>

【インフラメンテナンス国民会議に関すること】

国土交通省中国地方整備局 企画部 TEL：082-221-9231

事業調整官 桑嶋 弘志（内線3116）

建設専門官 児玉 克史（内線3212）

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」

第10回・第11回ピッチイベントの開催

【傍聴参加者の募集】

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」では、地方自治体等の施設管理者が抱える施設管理の課題(ニーズ)について、民間企業等が保有する技術やノウハウを持ち寄り、シーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図る第10回及び第11回ピッチイベントを下記のとおり開催いたします。

各回で取り扱う施設管理者ニーズは、別紙-1(第10回)と別紙-2(第11回)に示すとおりであり、傍聴参加者を募集します。

記

■ 開催日時

第10回ピッチイベント : 令和6年1月25日(木) 13:30~16:40

第11回ピッチイベント : 令和6年1月31日(水) 13:30~16:30

■ 開催場所

第10回ピッチイベント : オンライン形式

第11回ピッチイベント : オンライン形式

お問い合わせ先

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会

藤井友行、天満真士 (復建調査設計株式会社)

E-mail : jcim-chugoku@fukken.co.jp

TEL : 050-9002-1744

FAX : 082-506-1891

申 込 要 領

1. 申込み手続き

- 定 員 : 各回100名(申込み先着順)
- 申込み方法 : 傍聴参加者申込書(別紙-3)を電子メールにて申込み先に送付
- 申 込 先 : インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会
藤井友行、天満真士(復建調査設計株式会社)
メールアドレス: jcim-chugoku@fukken.co.jp

2. 申込み期限

令和6年1月19日(金)

第10回ピッチイベントの施設管理者ニーズ

テーマ No. 1 : 橋梁の効率的な点検技術	
求める技術と理由	条件等
橋梁の点検技術 【理由】 点検に膨大な費用が掛かっており、直営点検も職員数が少なくあまりできない。	◇通常の点検方法より費用が安価な技術 ◇近接目視、打音等の点検と同等以上の点検が可能な技術
小規模橋梁の効率的な点検 【理由】 膨大な施設数を有するため効率的な点検方法の確立。	◇交通規制を伴わないこと ◇安価であること ◇点検時間が短縮されること
小規模橋梁(5m程度)の効率的な点検 【理由】 小規模橋梁が2,000橋近くあり点検にかなりの時間と労力、費用を要している。	◇職員でも対応可能であること ◇点検時間が短縮されること ◇点検から診断までAIなどを使用することで効率的になること ◇安価であること

テーマ No. 2 : 簡易な方法で地下埋設物の位置や埋設管の大きさなどを把握できる技術 (例えば専用の調査車両を走らせながら測定するなど)	
<p>【理由】</p> <p>昔に埋設された管など埋設物の全数把握ができておらずそれを調査するために多額の費用を支出することも難しい状況。</p> <p>そうした埋設管の老朽化が進み降雨に伴って陥没が発生するなど町道の維持管理にも支障が生じている。</p> <p>町道における工事の際には試掘を行い埋設物の位置等を把握しているが狭隘な町道が多く通行止めを余儀なくされている。</p>	
<p>【条件等】</p> <p>◇極力費用が安価な技術</p> <p>◇調査車両を走行させるだけで地下埋設物の位置や大きさなどの把握が可能な技術</p>	

テーマ No. 3 : 不明水を特定する技術	
求める技術と理由	条件等
雨天時浸入水(不明水)を特定する技術 【理由】 分流地区で雨天時浸入水が多く流入して処理場に負荷がかかっている。	◇極力費用が安価で精度が高い技術 ◇補助制度
不明水の把握技術 【理由】 範囲が広くどこから手を付けて良いか困難である。	◇範囲の絞り込みが行える技術

テーマ No. 4 : 塗替え時の下地処理

【理由】

鋼橋の塗替えにおいてPCB及び鉛を含んだ塗装が使われており、その際現場の規模等で1種ケレンでなく湿式を併用した2種ケレンが採用されるが2種ケレンでは下地塗装の落としに限界がある。

【条件等】

◇処分費及び作業効率などを含めてより良い方法はあるか

テーマ No. 5 : 道路施設に係る台帳、点検結果、修繕履歴、要望等を 一元的に管理するシステム

【理由】

過去の点検履歴や要望履歴などはそれぞれ別システムでデータ蓄積されておりAPI連携もできずその都度それぞれを確認する必要があり、修繕履歴においては履歴のある道路施設と履歴のない道路施設がある。

【条件等】

- ◇要望については写真データとその対応状況及び位置情報を蓄積できること
- ◇要望・点検・修繕が紐づきタイムラインによる確認ができること
- ◇点検・修繕の成果品やその記録が蓄積できること

テーマ No. 6 : 営繕施設に係る点検結果、修繕履歴等を一元管理できるシステム

【理由】

過去の点検履歴、結果、状況や修繕履歴、今後の修繕計画などが一元で管理でき指定管理者とも共有できるシステムがない。

【条件等】

- ◇膨大なデータに対応できるシステムであること(バグやエラーが少ない)
- ◇入力や編集が容易
- ◇写真や位置情報、図面データ等を紐づけ可能なもの

第11回ピッチイベントの施設管理者ニーズ

テーマ No. 1 : トンネル点検へ新技術の活用

【理由】

トンネル点検へ新技術活用ができていない。

【条件等】

- ◇安価であること
- ◇法定点検に必要な条件を満たすこと

テーマ No. 2 : 伸縮目地等からの漏水防止

【理由】

施工にあたり一定期間の通行規制行う必要がある。

【条件等】

- ◇通行規制を伴うため安価で施工期間の短い工法を選択したい

テーマ No. 3 : 表層の直営修繕技術(亀甲状のクラック補修)

【理由】

小規模表層補修技術。

【条件等】

◇材料が容易に入手でき資材があれば職員で対応できる材料

テーマ No. 4 : 道路の防草対策

【理由】

地域のボランティア除草は高齢化により県委託除草に移行してきており、嵩む除草費を抑えるため安価な防草対策がないか。

【条件等】

- ◇メンテナンスも含め施工費が安価なこと
- ◇施工者や環境への影響に配慮した工法

テーマ No. 5 : 護岸等の改修、改良

【理由】

護岸の老朽化のため改修が必要な箇所が多数あるが、建物等の近接や河川内の水位が高いため工法の選定が難しく、仮設(水替え、土留め)に費用や日数がかかる。

【条件等】

- ◇水替えの必要がなく施工できること
- ◇安価で早期に工事が行えること
- ◇近接する建物等への影響が極力少ない工法であること

テーマ No. 6 : 庁舎裏庭等の雑草やのり面の雑草対策

【理由】

有効かつ長期的に効果のある対策が必要。

【条件等】

- ◇防草シート等に対応している箇所は費用が高く数年間しかもたないため費用対効果が低い

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」

第10回・第11回ピッチイベント

傍聴参加者申込書

令和 6 年 1 月 日

参加希望	<input type="checkbox"/> 第10回ピッチイベント（令和6年1月25日）（WEBのみ）		
	<input type="checkbox"/> 第11回ピッチイベント（令和6年1月31日）（WEBのみ）		
フリガナ			
企業・団体名			
フリガナ			
参加者			
フリガナ		フリガナ	
所属		役職	
フリガナ	〒		
所在地			
連絡先 メールアドレス			
電話番号			

注意事項

1. 申込みの際の電子メールの件名は、「ピッチイベント傍聴参加者申込み」としてください。
2. ご記載いただいた個人情報は、ご本人の同意なく当ピッチイベント以外で利用することはありません。